

知事表敬訪問

第2回耕作放棄地発生防止・解消活動表彰における
有限会社F．K．ファームの農林水産大臣賞受賞報告

- 1 日 時 平成22年6月3日(木) 13:50～14:00
- 2 場 所 知事室
- 3 受賞報告者 有限会社 F．K．ファーム
代表取締役 羽田 正 (はねだ まさし)
- 4 概 要
全国農業会議所及び全国農業新聞主催による「第2回耕作放棄地発生防止・解消活動表彰事業」で本県農業会議が推薦した「有限会社F．K．ファーム」が全国第1位の農林水産大臣賞を受賞しました。
表彰式は、5月27日(木)の全国農業委員会長大会(東京都日比谷公会堂)で行われました。



「有限会社 F．K．ファーム」の活動について

- 1 市町村の概況
南会津町(旧田島町)は、8割以上が森林で占められている典型的な山間地域です。冷涼な高原性の気候を利用して、ソバや花き、トマト、アスパラガスなどの園芸作物を中心とした農業振興が進められてきましたが、近年、農業後継者の減少、担い手の高齢化に伴って耕作放棄地が増加するなど、農業生産が減少しています。
- 2 耕作放棄地発生防止・解消活動の緒言
有限会社 F．K．ファームの母体は建設業者(福南建設株式会社)ですが、かねてから農業分野への異業種参入に強い関心を持ち、平成16年8月に農業生産法人要件を満たす有限会社F．K．ファームを設立し、ソバ栽培を開始しました。

3 具体的な事業内容

(1) 地域農業の担い手として積極的に活動

地元建設業界からの異業種参入者ですが、水無・中荒井地域内の長年耕作されずに荒れていた農地を借受け、平成18年度に県単事業の「稔りの農地総合再生事業」を活用して、24.5haの畑地を農地として再生しました。また、大がかりな工事が不要な耕作放棄地については自力により再生し、現在までに合計43.85haの大規模な耕作放棄地の解消・再生をしています。

(2) 耕作放棄地発生防止

平成21年度からは、高齢化等により耕作者が農作業が出来なくなった4haの水田の水稻作業を受託し、耕作放棄地発生の未然防止に積極的に取り組んでいます。

(3) 耕作放棄地を活用した農業経営の確立

経営の主力であるソバ栽培面積は、法人設立時（平成16年）の10haから平成21年には42haまで拡大しました。土壌改良資材の投入などによる土づくりを積極的に行うとともに、福島県育成ソバ品種「会津のかおり」の種子生産に取り組んでいます。また、平成21年からは、全面積を在来種から「会津のかおり」に切り替えて、収量の向上に努めています。

(4) 農業の6次産業化の実践

雇用労働力の有効活用を図るためソバとアスパラガスの複合経営を目指して、南会津町特産のアスパラガスの生産に取り組み、平成19年度から1.85haの作付けをはじめました。ソバの栽培、製粉、加工、販売、蕎麦店の経営事業も行っています。

また、地元の企業組合（企業組合とんぼのめ）と連携して、アスパラガスの粉末を加工原料に利用してアイスクリーム、ロールケーキなどの新商品を開発し、企業組合運営の加工直売所で販売しています。

(5) 耕作放棄地解消意識の波及

F. K. ファームの設立が契機となり、耕作放棄地解消に取り組む組織が相次いで2組織（水無そば生産組合、有限会社南会津アグリサービス）が設立され、水無・中荒井地区の耕作放棄地の解消が急速に進みました。

同地区の耕作放棄地面積は、平成16年度末には78.6haでしたが、平成19年度末には3.1haまで減少しました。

(6) 地域振興を先導

平成21年5月に設立されたそばによる南会津地域の振興を目的とした「南会津そば振興協議会」の設立携わったことから、初代会長を務めています。同年10月に開催された「第1回南会津新そば祭り」の実行委員長を務めました。平成22年度以降も10月中旬に継続して実施予定です。

4 会社概要

- (1) 名称 有限会社 F. K. ファーム
- (2) 構成員 3名、臨時職員9名
- (3) 住所 福島県南会津郡南会津町田部字下原206-6

(4) 設立日 平成16年8月

知事表敬訪問の様子

